

局 所 排 気 装 置 摘 要 書

別表第7の区分											
対象作業工程名											
局所排気を行うべき物質の名称											
局所排気装置の配置図及び排気系統を示す線図											
フ ー ド	番 号										
	型 式	囲い式 外付け式 (側方、下方、 上方) レシーバー式		囲い式 外付け式 (側方、下方、 上方) レシーバー式		囲い式 外付け式 (側方、下方、 上方) レシーバー式		囲い式 外付け式 (側方、下方、 上方) レシーバー式		囲い式 外付け式 (側方、下方、上方) レシーバー式	
	制 御 風 速(m／s)										
	排 風 量(m³／min)										
	フードの形状、寸法、 発散源との位置関係 を示す図面										
局 の 所 排 気 計 装 置 値	装置全体の圧力 損失(hPa)及び計算 方法										
	ファン前後の速度圧 差(hPa)					ファン前後の静 圧差(hPa)					
設 置 フ ァ ン 等 の 仕 様	排 風 機	最大静圧(hPa)					フ ァ ン 型 式	タ ー ボ ル ド ル コ 流 流 ル (ガイドベーン(有、無)) その他()			
		ファン静圧(hPa)									
		排 風 量 (m³／min)									
		回 転 数 (rpm)									
		静 圧 効 率(%)									
		軸 動 力(kw)									
	ファンを駆動する電 動 機	型 式		定格 出力 (kw)		相	電圧(V)	定格周波数(Hz)	回転数(rpm)		
空 気 清 浄 装 置	除 じ ん 装 置	定格処理風量(m³／min)				圧力損失の大きさ(hPa)		(定格値)		(設計値)	
		前置き除じん装置の 有無及び型式		有(型式) 無							
		主 方 式				粉じん取 出方法					
		形 状 及 び 寸 法									
	集 じ ん 容 量 (g／h)				粉じん落 とし機構		有(自動式・手動式) 無				
排ガス 処理装置	ガ ス 中 に 液 を 分 散 さ せ る 方 式 ガ ス ・ 液 と も に 分 散 さ せ る 方 式 液 中 に ガ ス を 分 散 さ せ る 方 式 吸 着 方 式 そ の 他 ()				吸 収 液 又 は 吸 着 剤	水 水酸化ナトリウム 消 石 灰 ア ン モ ニ ア 硫 活 性 炭 その他()		処 理 後 の 措 置	再 生 ・ 回 収 焼 却 没 埋 廃棄物処理業者へ の委託処理 そ の 他		

備考

1 「別表第7の区分」の欄には、当該局所排気装置に該当する別表第7の項の番号を記入すること。

2 別表第7の24の項の局所排気装置にあっては、「対象作業工程名」の欄に粉じん障害防止規則別表第2の号別区分を記入すること。

3 「フード」の欄には、各フードごとに番号を記入し、型式については該当するもの(外付け式のフードにあっては、吸引方向)に○を付するとともに、所要事項を記入すること。

4 「設置ファン等の仕様」の欄の排風機のうち、「最大静圧」以外は、ファンの動作点の数値を記入すること。「ファン型式」の欄は、該当するものに○を付すること。

5 別表第7の13の項の局所排気装置にあっては、「空気清浄装置」の欄は記入を要しないこと。また、同表の14の項又は24の項の局所排気装置にあっては、「空気清浄装置」の欄のうち除じん装置の欄のみ記入すること。

6 「空気清浄装置」の欄のうち「排ガス処理装置」、「吸収液又は吸着剤」及び「処理後の措置」の欄は、該当するものに○を付すること。

7 「空気清浄装置」の欄のうち排ガス処理装置については、その図面を添付すること。

8 この摘要書に記載しきれない事項は、別紙に記載して添付すること。